

2024年2月19日

## ～ゆふ高原線の風土をあじわう新たなD&S列車～ 特急「かんぱち・いちろく」 外観・内装・車両レイアウト・ロゴマークについて

2024年春、福岡・大分デスティネーションキャンペーンの開催に合わせて運行開始予定の、新D&S列車特急「かんぱち・いちろく」の外観・内装、車両レイアウト、ロゴマークが決まりましたのでお知らせいたします。

### ■ 外観・ロゴマーク

～外観～



～ロゴマーク～



designed by IFOO

#### ★ 外観イメージ

艶のある黒を基調としたデザインで、車体にはゆふ高原線の路線図(久留米駅～大分駅)をモチーフにしたゴールドライン、上下にはゆふ高原線の駅名によるエッジラインが描かれています。車体にゆふ高原線沿線の景色が映り込むことで、車両全体で雄大な風景を表現するようデザインされています。

#### ★ ロゴマーク

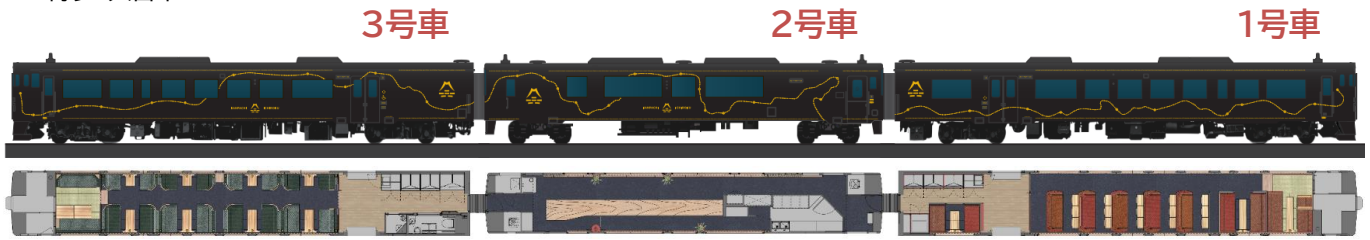
由布岳をモチーフとした冠が数字の「八」を表現。沿線を流れる川を数字の「一」で表し、それが6つ集まり数字の「六」を描いています。沿線の自然が「かんぱち・いちろく」のメインロゴを作り上げています。

## ■ 車両全景

### ～外観・レイアウト～

←博多・久留米

由布院・大分・別府→



完成イメージ

〔車両概要〕 全席グリーン席

1号車: 畳個室(1室、定員6名)、ソファ席(5席、各定員3名)、BOX席(2席、定員6名×1と4名×1)

2号車: ラウンジ杉

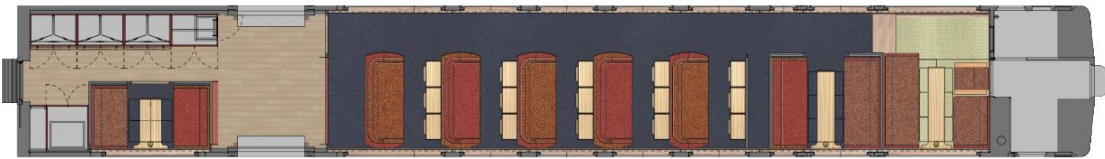
3号車: 畳個室(1室、定員6名)、BOX席(8席、定員4名×3、3名×1、2名×4)

合計定員60名(3号車に車いす対応座席あり)

## ■ 内装・レイアウト

### ～1号車～

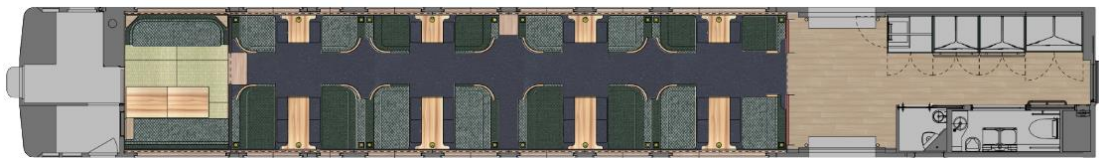
大分・別府エリアの風土をモチーフにデザインしました。火山や温泉を想起させ、大分の県旗にも使われる赤をベースとした温かい色味のソファ席は、重厚感のある座り心地を重視したお座席です。テーブルには大分産の杉を用い、天井や手摺も杉板で統一した木の温かみのある客室となっています。



1号車イメージ

### ～3号車～

福岡・久留米エリアの風土をモチーフにデザインしました。沿線の雄大な平野や山々を想起させる緑と、福岡の県章にも使われる青をベースとした落ち着いた空間です。テーブルには福岡産の杉を用いています。2～4名でゆっくり過ごせる半個室型のBOX席では、お客さまだけのお時間をゆっくりお楽しみいただけます。



3号車イメージ

### ～3号車畳個室～

お子さま連れのご家族やグループのお客さまなどさまざまなシーンでご利用いただけます。大きな窓からは沿線の景色をたっぷりご覧いただけます。贅沢なお時間をお過ごしください。



3号車畳個室イメージ

## ～2号車(ラウンジ杉)～

大きな窓から沿線の景色を望むことのできる2号車「ラウンジ杉」。ご乗車のお客さまの共用スペースとしてご自由にお過ごしいただけます。由布院・日田エリアの風土をモチーフにデザインしました。樹齢約250年の杉の一枚板カウンターと日田の底霧をイメージした天井が天領地であった日田の豊かな自然を表現し、落ち着いたある洗練された雰囲気をつくります。一枚板カウンターの端部にはミラーサインを設置し、沿線の紹介動画等もお楽しみいただく予定です。

2号車ラウンジではビュッフェも兼ね備えており、ゆふ高原線沿線の美味しい食べものや飲みもの、列車のオリジナルグッズなどの販売を予定しています。



2号車イメージ

## ■ その他

運転日・発売日・発売額・発売方法、車内サービスなどについては、詳細が決まり次第、順次お知らせいたします。